

けいすい

平和への願いを込めて

With a wish for peace.

今年の夏も暑いですが。ニュースでは各地の最高気温が更新されたことや、熱中症の話題が連日伝えられています。「昔とは暑さがちがう」とよく聞きますが、確かに日中の日差しの感じ方は以前とは異なり、まさに「激暑」という言葉がぴったりです。十分に注意して、暑い夏を乗り切りたいです。

さて、本日8月9日は「長崎原爆の日（県民祈りの日）」です。戦後81年を迎える2026年、戦争や紛争は遠い国の出来事ではなく、世界経済や食料、エネルギーなどを通して、私たちの日常にも影響を与えていることを今年は強く感じます。ホルムズ海峡封鎖による石油製品や石油価格の高騰は、私たちの暮らしが世界情勢とつながっていることを改めて痛感させる機会となりました。日本の平和は、世界の平和と深く結びついています。

1945年（昭和20年）8月9日、11時2分。一発の原子爆弾が長崎市の上空、約500メートルで炸裂しました。1945年末までにおよそ7万人の尊い命が奪われ、負傷された方は数はおよそ7万人に上ります。戦争を体験された世代が少なくなる中、当時の思いや教訓を次の世代へと語り継ぐことが何より大切です。

北小学校では、原子爆弾の悲惨さや恐ろしさを学ぶため、玄関前に資料パネル掲示しました。当時の被害を伝える写真等を通して、原子爆弾の恐ろしさについて学びます。また、戦争や平和に関する本を集め、「平和を考えるコーナー」も設置しました。本を読むことで様々な視点から平和の大切さについて考えてほしいと思います。さらに、児童一人ひとりが平和への願いを込めて折り鶴を折りました。この折り鶴は10月に平和公園を修学旅行で訪れる6年生に託し、奉納してもらう予定です。

今日の平和集会では、学級ごとに考えた「平和宣言」を発表し合い、平和は誰かがつくるものでなく、一人ひとりが築き、守っていくものであることを全校で確認し合いたいと思います。



校長室前に平和に関する本を集めてもらいました。



原爆の悲惨さを伝える資料をお借りして、原子爆弾の悲惨さについて学びます。



平和への思いを込めた千羽鶴です。修学旅行の際に捧げてきます。

夏休みの生活

Summer Vacation Life

子どもたちは充実した夏休みを過ごしていることと思います。夏休み前に立てた計画は実践されているでしょうか？

夏休みに入る前、学校から子どもたちへ特に次の4点を指導しています。再度確認をお願いします。

夏休みの生活は…

①②③

①…いつでも どこでも

「これ、だいじょうぶ？」

- ・楽しいことの裏には、さまざまな危険が潜んでいます。特に、交通事故・水の事故・ネットトラブルなどには注意が必要です。何か行動を起こす前には「これ、だいじょうぶかな？」と一度立ち止まって考えることが大切です。

②…のんびり

水分補給

- ・連日、最高気温が35度を超える厳しい暑が続いています。熱中症は重症化すると命の危険を伴うため、喉が渇く前のこまめな水分補給が欠かせません。

③…ちゃんと計画

楽しい夏休み

- ・夏休みは油断すると気が緩み、だらだらと過ごしてしまいがちです。規則正しい生活習慣が身に付くよう、ご家庭でも計画づくりを見守っていただければと思います。「決めたら、まず行動する」ことが立てた計画を習慣化する一番の方法です。今後の生活につながるように計画が習慣となるまで実践をしていくとよいと思います。

